

2025 年 4 月 15 日

2025 年度第 1 四半期決算

バンク・オブ・アメリカは、2025 年度第 1 四半期決算を発表しました。

第 1 四半期業績【参考訳文(要旨)】

- 当期純利益は、前年同期における 67 億ドル(希薄化後 1 株当たり 0.76 ドル)に対し、74 億ドル(希薄化後 1 株当たり 0.90 ドル)となりました。
- 収益(支払利息控除後)は、全セグメントにわたる非金利収益の増加及び純受取利息の増加に起因し、6%増加して 274 億ドル(FTE ベースで 275 億ドル)となりました。
 - 純受取利息は、2024 年度第 1 四半期から 3%及び 2024 年度第 4 四半期から 1%増加して、144 億ドル(FTE ベースで 146 億ドル)となりました。
 - 前年同期比での増加は、預金コストの減少、グローバル・マーケット事業に関連する純受取利息の増加及び固定利付資産の金利更改を含む複数の要因による恩恵を反映したものでしたが、金利低下及び 1 日少ない利息計上期間の影響により一部減殺されました。
 - 前四半期比での増加は、預金コストの減少、グローバル・マーケット事業に関連する純受取利息の増加及び固定利付資産の金利更改を含む複数の要因の恩恵を反映したものでしたが、金利低下及び 2 日少ない利息計上期間の影響により一部減殺されました。
- 貸倒引当金繰入額は、2024 年度第 1 四半期の 13 億ドルからは増加して、2024 年度第 4 四半期からは横ばいで、15 億ドルとなりました。
 - 貸倒償却(純額)は、2024 年度第 1 四半期及び 2024 年度第 4 四半期から横ばいで、15 億ドルとなりました。
- 非金利費用は、主として収益に関連する費用並びに人材、技術、事業及びブランドへの投資の増加に起因し、3%増加して 178 億ドルとなりました(2024 年度第 1 四半期における 7 億ドルの FDIC 特別査定費用がなくなったことにより一部減殺されました)。

- バランスシートは引続き堅調
 - 平均預金残高は、3%増加して 1.96 兆ドルとなり、7 四半期連続の増加となりました。
 - 平均貸出金及びリース金融残高は、4%増加して、1.09 兆ドルとなりました。
 - 平均グローバル流動資金は、9,420 億ドルとなりました。
 - 普通株式等 Tier1(CET1)資本は、2024 年度第 4 四半期から横ばいで、2,010 億ドルとなりました。
 - CET1 比率は、11.8%(標準的アプローチ)となり、10.7%の最低所要自己資本比率を大きく上回りました。
 - 20 億ドルの普通株式配当及び 45 億ドルの株式の買戻しにより、株主に対して 65 億ドルを還元しました。
- 普通株式 1 株当たり純資産は、8%増加して 36.39 ドルとなりました。普通株式 1 株当たり有形純資産は、9%増加して 27.12 ドルとなりました。
- 平均普通株主持分利益率は、10.4%となりました。平均有形普通株主持分利益率は、13.9%となりました。

プレスリリース原文および注記は[こちら](#)をご参照ください。

※特に注記のない限り、記載されている比較(%)は前年同期比、また貸出金および預金残高は平均して表示しています。